

チェックテスト 解答

5章 各論：言語・記憶・思考の障害への介入

1 言語とは (p.141)

①

話す，聴く，読む，書く

2 言語障害の特徴 (p.147)

①

理解面 (聴覚的理解や読解) ⇒ 発話 ⇒ 書字の順

②

流暢さ，聴覚的理解，復唱の3要因

3 言語障害の評価 (p.152)

①

標準失語症検査 (Standard Language Test of Aphasia : SLTA)

4 言語障害への介入の実際 (p.155)

①

- 1) 短い文でゆっくり話す，
- 2) 患者が使い慣れた言葉や言い回しを使う，
- 3) 具体的な事柄について話す，
- 4) 抑揚や表情を豊かに，ジェスチャーも加える，
- 5) 理解できないときは，繰り返しか別の言い回しで，
- 6) 話題を唐突に変えない，
- 7) 「はい」「いいえ」で答えられる質問や選択肢で，
- 8) ゆっくりと聞く (待つ)，

9) 誤りを強く訂正しない，

10) はっきりとほめ，ともに喜び励ます

5 記憶とは (p.163)

①

- 1) 登録 (registration)，
- 2) 把持 (retention, store)，
- 3) 再生 (recall, retrieval, decoding) の3過程

②

即時記憶，近時記憶，遠隔記憶の3区分

③

陳述記憶 (エピソード記憶と意味記憶) と非陳述記憶 (手続き記憶，プライミング，古典的条件付けなど)

6 記憶障害の特徴 (p.166)

①

健常者よりはるかに頻繁に忘却すること。

②

間脳，側頭葉内側面，前頭葉

7 記憶障害の評価 (p.172)

①

日本版リバーミード行動記憶検査 (RBMT) と，できれば日本版ウエクスラー記憶検査法 (WMS-R)。

8 記憶障害への介入の実際 (p.179)

①

残存した手続き記憶 (一部は意味記憶も) を活用し，繰り返し訓練によりエピソード (出

来事) 記憶を強化すること。

9 思考とは (p.183)

①

外界の事物や事象を分類する際の基準となっている情報や知識

②

演繹的推論 (トップダウン) と帰納的推論 (ボトムアップ)

③

推論, 問題解決, 判断, 予測, 決断する過程のこと。

10 思考障害の特徴 (p.185)

①

問題解決能力の低下

11 思考障害の評価 (p.188)

①

日本版レーヴン色彩マトリックス検査, 箱作り法

12 問題解決の障害に対する介入の実際 (p.190)

①

- 1) 電話取り次ぎ・要件伝達訓練,
- 2) 買物訓練,
- 3) 料理活動訓練,
- 4) 旅行計画立案訓練